

桂坂だより 特別号

令和7年11月17日（月）
京都市立桂坂小学校
校長 中村 佳明

お忙しい中、学校評価のためのアンケート（前期）にご協力いただきありがとうございます。このアンケートは、子どもたち一人一人や保護者の皆様、地域の方々の声を大切にすると共に、そこから見えてきた桂坂小学校の強みや課題を共通認識した上で、連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざしています。

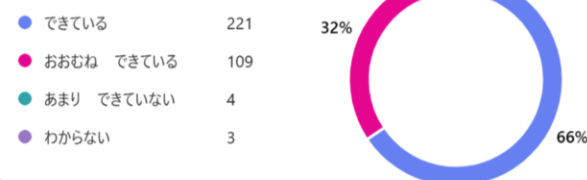
学校評価のためのアンケート結果の考察【前期】

1年生をむかえる会の様子



お子様は、楽しい学校生活を送ることができていますか。

保3



「お子様は楽しい学校生活を送ることができていますか」という質問項目に対して、保護者からの「できている」「おおむねできている」の**肯定的回答の合計が98%となりました。**これは、すべての質問項目の中で最も高い数値です。この結果から、日頃の授業、行事などを通して子どもたちが楽しく学校生活を送る基盤を作れていると、保護者の皆様を感じていただいていることがうかがえ、本校の目指す「居場所がある」学校になってきていることを嬉しく思います。

自主的に学習できるように

7. 家庭学習はがんばっていますか。

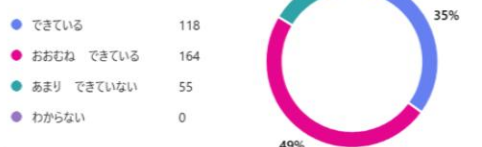


「お子様は、自主的に家庭学習に取り組むことができていますか」という質問項目に対し、「あまりできていない」という回答が16%ありました。一方、児童にとつたアンケートでは、同じ項目に対して「あまりできていない」という回答は5%でした。**ここから、保護者と児童で「家庭学習」に対する意識の差があることがうかがえます。**学校では、自主的な学習習慣の定着を目指し、チャレンジ10などの取組を進めています。

児童が自主的に「頑張っている」ところと、保護者の皆様が「期待している」ところを、一度すり合わせる機会をもつていただくことも、児童の意欲向上につながるのではないかと考えています。

お子様は、自主的に家庭学習に取り組むことができていますか。

保6

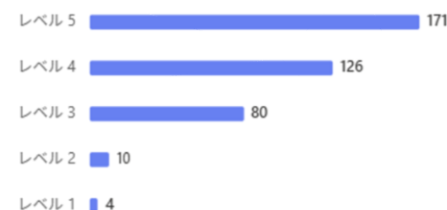


キラりんくを実感する授業



22. あなたのキラりんくは☆いくつですか。

4.15
平均評価



今年度から、本校では、「合言葉は『キラりんく』」を掲げ、教育活動を進めています。自分が輝くという意味の「キラリ」と、友だちとつながるという意味の「リンク」を組み合わせた言葉です。『キラりんく』は本校の人権教育目標の「自他の人権を尊重しながら行動できる児童の育成」を具現化するために、子どもたちに浸透させている言葉です。**1学期には、「☆いくつですか」と質問したところ平均4.15という自己評価を得ら、自分の成長を実感している様子がうかがえました。**2学期も引き続き「キラりんく」の精神を大切にしながら、教育活動を進めて参ります。

本校が育成をめざす資質・能力

☆本校が目指す資質・能力を5段階評価したものの平均点です

？をみつけ、
かんがえぬく力

3.65

はなしあって
きめる力

3.73

おりあいをつ
ける力

3.74

のりこえる力

3.69



さらなる充実を目指して、
日々の話し合い活動に力を入れています！

This is カツラザカの取組

本校では、桂坂小学校ならではの特色を打ち出し、子どもたちが「キラリ」と輝く教育活動を進めています。

① 「かざらっこモーニング」

朝の時間に体を動かしたり、歌を歌ったりすることで気持ちよく1日をスタートします。心と体のスイッチを入れる大切な時間です。

② 「キラりんく」の授業

道徳、特別活動、各教科において人権に関する学びを深めています。

③ チャレンジ10

自分で目標を決め、粘り強く学習に取り組む活動です。家庭学習とのつながりも意識しています。

これらの取組を通して、子どもたちが自分らしく輝き、仲間とつながりながら成長していけるよう、教育活動を充実させてまいります。



日々の教育活動

① かざらっこモーニング

② 「キラりんく」の授業



③ チャレンジ10



桂坂独自の
取組

委員会ラリー



キラりんく音楽祭
かざらっこパーク

キラリと
輝く子どもたち

特別な行事

キッズプラン発表会



運動会



本校では、行事や「たてわり活動」を通して、豊かなつながり時間の創出を目指しています。

高学年が、相手意識をもってリーダーシップを発揮し、中学年はそのサポート役として関わります。低学年は上級生の姿から学び、活動に参加します。

異学年とのかかわりを通して、思いやる力や協力する力が育まれています。

☆ 8月20日に学校運営協議会を行い、教職員と地域、保護者の方々とアンケート結果をもとに話し合いました☆

学校運営協議会 理事会

地域代表（自治連会長、諸団体長、有識者等）
保護者代表（PTA会長、元PTA会長）で構成

まなびひろがり 委員会

放課後まなび教室
部活動・クラブ活動

〈意見交流にて〉

放課後まなび教室へ参加する児童は年々減少傾向にあります。しかし、参加している児童は、リラックスしている様子が見られ、居場所の一つになってくれればと願っています。

また、部活動は異学年が関わり合い、人間関係を豊かにする大切な学びの場です。かつてのように「勝ち」を目指す活動ではなく仲間と、協力する楽しさを味わってほしいです。

こころほっと 委員会

安心・安全の取組
防災の取組

〈意見交流にて〉

教職員、地域の方ともに、安全への理解を深めていくことが大切だと考えています。

防犯推進委員では、地域の安心・安全のために朝の見回りや夜間パトロールを行っています。

学校では、緊急時対応訓練や防犯避難訓練を定期的に行い、教職員の安全に対する意識の向上に努めています。

としょとともに 委員会

図書館活用
図書館運営

〈意見交流にて〉

自分の考えを表現するには、適切なインプットが欠かせません。そこで、小学校では、発達段階に応じた本を読むことを勧めています。

図書館では、本のレベルを色シールで示し、児童が自分に合った本を選ぶように工夫しています。家で調べものをする際には、インターネットを使うことが多いと思いますが、ぜひ本を使って調べることに挑戦してほしいです。

まなびつながり 委員会

総合的な学習の時間を
中心とした講師派遣

〈意見交流にて〉

もっと桂坂の魅力を見つけ、広げるにはどうしたらよいかについて話し合いました。

桂坂は自然が豊かなだけではなく、国際日本文化研究センターや京都大学などの研究施設があります。これらの研究施設と連携し、出前授業を行っていただくことで、桂坂で活躍している研究者の存在を知り、桂坂の新たな魅力に気づききっかけになるのではないかと考えています。